

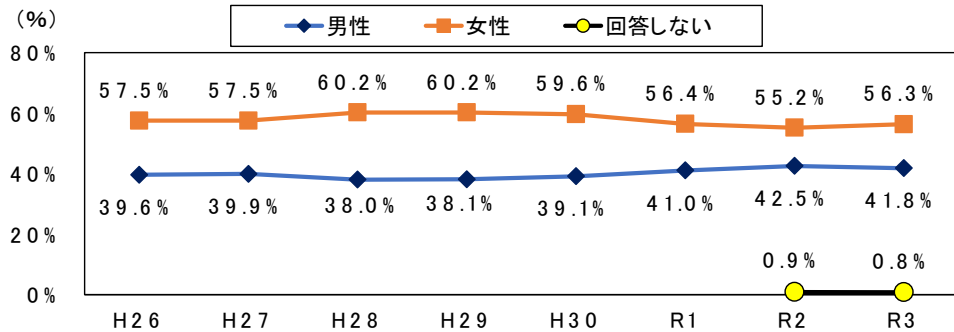
第 3 章 調査結果

1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

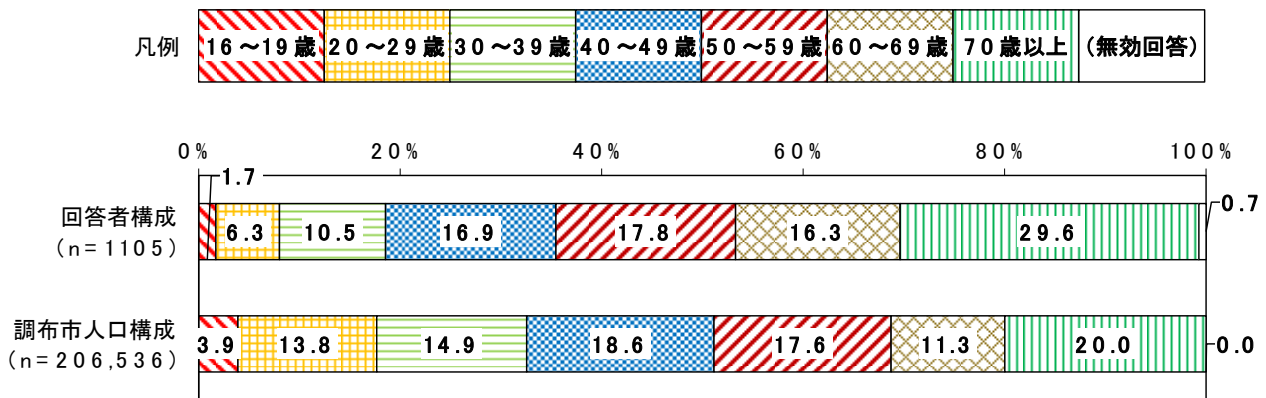
ア 性別

○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和3年12月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、40歳代までは低い一方、50歳代以上は高くなっています。



ウ その他

○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

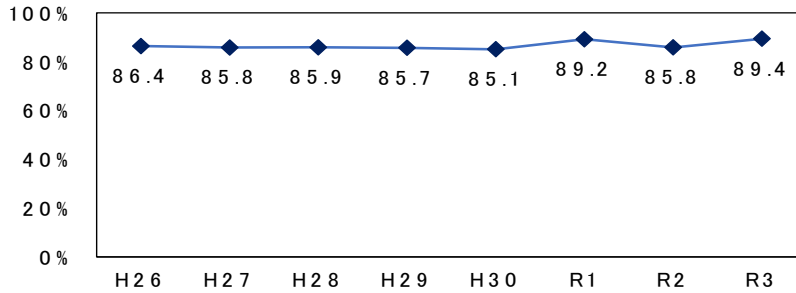
【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	派遣・契約・嘱託社員, パート・アルバイト 20.2%	無職 19.5%	建設業・鉱工業・製造業系以外の 商業・サービス業系などの会社員 19.1%
通勤(就業)・ 通学先	東京23区内 44.4%	市内(自宅以外) 21.8%	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域) 15.6%
住居形態	一戸建て(持ち家) 44.0%	集合住宅(分譲) 24.0%	集合住宅(賃貸) 20.5%
居住年数	30年以上 33.8%	10年以上20年未満 20.7%	20年以上30年未満 17.7%
前居住地	東京23区内 37.1%	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域) 22.8%	調布市以外に住んだことがない 9.7%

第3章 調査結果<調査結果の概要>

(2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりである」＋「事情が許せば住み続けたい」）は89.4%であり、令和2年度より3.6ポイント増加しています。



(3) 市政全般に対する満足度・優先度

ア 現在の満足度

<満足度・不満足度が高い項目>

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する満足度※1（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度に引き続き、「日常の買い物の便利さ」が第1位となり、第5位であった「深大寺地域などの観光振興」が第3位となっています。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）において、第1位は昨年度に引き続き「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，第2位は「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和2年度 順位/割合 (%)
満足	1	日常の買い物の便利さ	83.3%	1位/83.6
	2	ごみ処理	81.6%	2位/82.8
	3	深大寺地域などの観光振興	80.9%	5位/81.4
	4	図書館	79.6%	6位/80.5
	5	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	79.5%	3位/81.5
不満	1	道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）※2	41.5%	1位/40.2
	2	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）※2	38.7%	2位/34.6
	3	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）※3	34.3%	3位/29.9
	4	ホームページの見やすさ	27.5%	6位/24.5
	5	行政サービスのデジタル化の取組※4	26.9%	—

※1 満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

※2 「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」は，令和元年度までは「道路整備」という1つの質問項目になっていました。

※3 「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）」は令和2年度までは「居住環境（バリアフリー・耐震化など）」，平成30年度までは「住宅環境」でした。

※4 「行政サービスのデジタル化の取組」は令和3年度からの新設項目です。

<満足度の経年比較>

- 全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると令和3年度は昨年度と比較して1.3ポイント減少しています。また、直近5箇年（平成28年度～令和2年度）の平均値を5.4ポイント上回っています。
- 満足度が、過去5年（平成28年度～令和2年度）の平均値と比較して増加したのは、全48項目中40項目で、うち10ポイント以上増加したのは3項目となっています。
- 一方、満足度が過去5年の平均値より減少していたのは4項目で、10ポイント以上減少していた項目はありませんでした。

【図表 全項目の満足度の平均値】

H28	H29	H30	R1	R2	過去平均値 [※]	R3
60.1%	59.0%	63.6%	69.0%	71.3%	64.6%	70.0%

※ 一部、令和2年度から調査を開始した項目を含む

【図表 満足度が過去の平均値より10ポイント以上増減した項目】

	項目	増減 [※] (ポイント)
満足度が 10ポイント以上 増加した項目	子育て支援サービス	10.7
	市内中小企業に対する支援	10.7
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	10.0
満足度が 10ポイント以上 減少した項目	—	—

※ 令和3年度の実績値から過去5年間の平均値を引いた値です。

第3章 調査結果<調査結果の概要>

【図表 満足度の経年推移】

	項目	H28	H29	H30	R1	R2	過去平均値 ^{※1}	R3	増減 ^{※2} (ポイント)
基本目標1	地震への災害対策	57.7%	61.4%	59.9%	65.3%	69.4%	62.7%	67.6%	4.9
	風水害などへの災害対策					65.3%	61.9%	67.6%	5.7
	火災などへの消防対策	66.8%	67.9%	70.3%	79.2%	75.6%	72.0%	74.7%	2.7
	防犯対策	60.3%	62.1%	64.5%	70.7%	69.2%	65.4%	70.2%	4.8
基本目標2	子育て支援サービス	51.9%	50.6%	59.4%	61.2%	64.7%	57.6%	68.3%	10.7
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	50.4%	49.0%	56.1%	58.4%	64.6%	55.7%	64.0%	8.3
	小・中学校の教育	56.7%	55.6%	62.5%	62.0%	63.9%	60.1%	67.7%	7.6
	青少年の非行防止や健全育成対策	54.2%	50.6%	59.0%	64.0%	65.4%	58.6%	67.3%	8.7
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	44.8%	44.6%	50.7%	54.5%	58.0%	50.5%	60.5%	10.0
基本目標3	高齢者の福祉	58.4%	57.4%	61.8%	64.2%	70.7%	62.5%	69.5%	7.0
	障害者の福祉	57.3%	56.6%	59.8%	64.5%	69.5%	61.5%	68.0%	6.5
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	50.8%	50.6%	56.2%	62.3%	66.3%	57.2%	66.3%	9.1
	健康診断などの保健サービス	66.1%	65.5%	69.3%	73.2%	75.3%	69.9%	74.8%	4.9
	医療体制の充実	63.7%	64.9%	69.5%	72.6%	73.0%	68.7%	70.6%	1.9
	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組	-	-	-	-	-	-	69.4%	-
基本目標4	図書館	70.1%	69.1%	73.0%	77.9%	80.4%	74.1%	79.6%	5.5
	公民館				74.8%	75.4%	72.5%	74.3%	1.8
	たづくりを中心とした生涯学習	65.6%	63.9%	69.4%	77.3%	77.6%	70.8%	78.0%	7.2
	スポーツ振興	64.0%	62.6%	69.4%	75.9%	77.2%	69.8%	76.3%	6.5
基本目標5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	58.7%	55.9%	63.2%	67.7%	71.3%	63.4%	69.5%	6.1
基本目標6	日常の買い物の便利さ	69.2%	71.3%	73.8%	82.0%	83.6%	76.0%	83.3%	7.3
	市内工業・商業などの活力	50.2%	53.4%	58.2%	63.5%	67.6%	58.6%	66.6%	8.0
	市内中小企業に対する支援	51.7%	49.2%	56.9%	61.6%	66.3%	57.1%	67.8%	10.7
	深大寺地域などの観光振興	72.6%	69.5%	75.9%	80.8%	81.4%	76.0%	80.9%	4.9
	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	76.2%	66.6%	71.2%	83.0%	81.5%	75.7%	79.5%	3.8
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	63.0%	64.0%	69.0%	75.6%	78.2%	70.0%	78.6%	8.6
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	68.7%	67.2%	71.7%	78.3%	79.4%	73.1%	79.4%	6.3
	歴史・文化財の保存や継承	67.8%	65.6%	70.8%	77.9%	80.4%	72.5%	79.1%	6.6
基本目標7	街並み・景観	61.7%	60.8%	63.3%	67.7%	74.7%	65.6%	69.2%	3.6
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	52.9%	60.2%	62.3%	69.1%	75.0%	63.9%	71.5%	7.6
	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	66.3%	63.9%	70.5%	53.8%	62.8%	63.5%	58.4%	-5.1
	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）					53.5%	46.5%	51.9%	5.4
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	43.3%	40.7%	45.5%	49.7%	58.6%	47.6%	54.6%	7.0
基本目標8	緑や自然環境の保全	70.6%	68.7%	68.5%	78.1%	81.5%	73.5%	76.1%	2.6
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	-	-	-	-	-	-	65.0%	-
	公園や遊び場	58.0%	56.7%	58.0%	65.2%	70.6%	61.7%	66.8%	5.1
	ごみ処理	72.9%	72.9%	74.2%	82.4%	82.8%	77.0%	81.6%	4.6
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	67.3%	67.4%	70.8%	80.5%	79.5%	73.1%	78.8%	5.7
まちづくりの 基本理念を実現するために	平和・国際交流の取組	-	-	-	72.5%	75.5%	74.0%	73.5%	-0.5
	人権に関する啓発・相談	-	-	-	71.9%	73.8%	72.9%	72.5%	-0.4
	女性の社会参加・参画	57.6%	56.4%	61.6%	67.9%	70.3%	62.8%	68.4%	5.6
	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	-	-	-	-	-	-	67.4%	-
行革プラン 2019	市民参加と協働の取組	59.7%	55.3%	60.6%	69.6%	72.2%	63.5%	70.5%	7.0
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	-	-	-	70.3%	71.7%	71.0%	71.6%	0.6
	ホームページの見やすさ	-	-	57.5%	62.8%	63.7%	61.3%	60.8%	-0.5
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	56.6%	53.6%	58.9%	64.7%	68.4%	60.4%	68.8%	8.4
	窓口・電話における職員の対応	68.4%	64.7%	69.7%	74.8%	76.5%	70.8%	77.0%	6.2
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	51.3%	49.9%	55.0%	60.9%	64.8%	56.4%	64.1%	7.7
	行政サービスのデジタル化の取組	-	-	-	-	-	-	60.5%	-
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-	-	58.2%	63.1%	67.8%	63.0%	64.6%	1.6
	行政評価の取組	52.1%	50.8%	55.8%	61.5%	66.1%	57.3%	63.4%	6.1
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	49.6%	47.7%	53.4%	58.0%	63.1%	54.4%	61.1%	6.7

※1 平成28年度～令和2年度の平均値

※2 令和3年度の実績値から過去5年間の平均値を引いた値です。

イ 今後の優先度

<優先度が高い項目>

○市民が普段の暮らしの中で感じている市政全般に関する 52 項目に対する優先度※1（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」）を見ると、昨年度と同様「地震への災害対策」が第1位となっています。次いで、第2位は「風水害などへの災害対策」、第3位は昨年度第4位だった「防犯対策」となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目／他の取組を優先する上位5項目】

	順位	項目	割合	令和2年度 順位/割合(%)	
※2 優先	1	地震への災害対策	63.9%	1位/58.2	
	2	風水害などへの災害対策	59.6%	2位/58.1	
	3	防犯対策	52.9%	4位/49.1	
	4	医療体制の充実 ※4	50.7%	10位/44.0	
	5	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	50.4%	3位/49.5	
※3 他を優先	1	公民館	68.6%	1位/67.6	
	2	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	67.3%	2位/65.7	
	3	スポーツ振興	66.8%	6位/64.9	
	4	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	66.7%	5位/65.0	※5
	4	たづくりを中心とした生涯学習	66.7%	3位/65.5	※5

※1 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価

※2 「優先」は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」で評価

※3 「他を優先」は、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」で評価

※4 「医療体制の充実」は令和2年度までは「病院・診療所などの医療機関」でした。

※5 「他を優先」の4位は、割合が同率のものが2項目あります。

第3章 調査結果<調査結果の概要>

(4) まちづくり指標

- 基本計画のまちづくり指標に該当している 29 項目 (31 指標) のうち、令和 3 年度時点で目標値を達成している項目は 8 項目ありました。
- 目標値に未達で現状値と目標値の差が 10 ポイント以上ある指標は、9 項目 (9 指標) あります (「災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合 (避難所)」, 「1 年間に生涯学習をした人の割合」, 「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」, 「地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合」, 「地域活動に参加している市民の割合」, 「1 年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」, 「中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合」, 「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」, 「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」)。
- 現状値と目標値の差が 5 ポイント以内の指標は、「子育て支援サービスに満足している市民の割合」, 「子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」, 「住みやすいと感じている市民の割合」, 「深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合」になります。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差】

基本目標	施策		調査結果					目標値 (R4年度)	現状値と 目標値 の差
			H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度 (現状値)	R1～3年度 平均値		
基本目標1	施策01	災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡先を決定している市民の割合	71.4% [☆]	55.9%	55.5%	54.9%	55.4%	75.0%	▲20.1
		避難方法を決めている市民の割合	60.5% [☆]	60.7%	60.0%	60.6%	60.4%	70.0%	▲9.4
	施策02	治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	83.3%	81.9%	83.7%	83.2%	82.9%	90.0%	▲6.8
基本目標2	施策04	子育て支援サービスに満足している市民の割合	59.4%	61.2%	64.7%	68.3%	64.7%	70.0%	▲1.7
	施策04	子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	37.6%	47.3%	47.5%	49.8%	48.2%	50.0%	▲0.2
基本目標3	施策08	地域包括支援センターを知っている高齢者の割合	56.3%	58.1%	53.3%	56.3%	55.9%	65.0%	▲8.7
	施策12	健康だと感じている市民の割合	74.1%	74.2%	71.1%	72.4%	72.6%	80.0%	▲7.6
	施策12	定期的ながん検診を受けている市民の割合	58.0%	49.2%	45.7%	50.8%	48.6%	60.0%	▲9.2
基本目標4	施策13	1年間に生涯学習をした人の割合	38.6%	40.0%	24.3%	28.4%	30.9%	40.0%	▲11.6
		社会教育施設の満足度	図書館 68.3% [☆] 公民館 41.2% [☆]	77.9%	80.4%	79.6%	79.3%	75.0%	4.6 24.3
	施策13	学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	19.3%	20.6%	13.4%	14.4%	16.1%	25.0%	▲10.6
	施策14	運動を週に1回以上行っている市民の割合	63.9%	62.8%	60.6%	71.0%	64.8%	70.0%	1.0
	施策15	地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合	35.8%	31.4%	31.1%	26.1%	29.5%	50.0%	▲23.9
基本目標5	施策15	地域活動に参加している市民の割合	26.4%	22.7%	16.8%	15.7%	18.4%	33.0%	▲17.3
	施策16	日常の買い物が便利と感じている市民の割合	73.8%	82.0%	83.6%	83.3%	83.0%	80.0%	3.3
	施策17	「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	69.0%	75.7%	78.2%	78.6%	77.5%	75.0%	3.6
	施策18	市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合	56.0%	55.8%	52.7%	52.4%	53.6%	60.0%	▲7.6
基本目標6	施策19	1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合	53.9%	51.1%	42.6%	49.9%	47.9%	60.0%	▲10.1
	施策21	住みやすいと感じている市民の割合	93.0%	94.2%	94.1%	93.0%	93.8%	95.0%	▲2.0
	施策21	市内に優れた景観があると感じている市民の割合	82.5%	85.1%	82.1%	82.7%	83.3%	90.0%	▲7.3
	施策22	中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8%	67.1%	68.1%	68.3%	67.8%	80.0%	▲11.7
	施策22	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0%	69.7%	70.9%	71.1%	70.6%	80.0%	▲8.9
	施策22	深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0%	89.6%	89.6%	88.2%	89.1%	90.0%	▲1.8
	施策23	バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	51.7%	48.9%	49.1%	50.3%	49.4%	65.0%	▲14.7
	施策23	空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合※1	-	67.6%	61.4%	71.2%	66.7%	80.0%	▲8.8
	施策24	自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合※2	72.0%	50.0%	64.9%	59.6%	58.2%	75.0%	▲15.4
	施策24	普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合	58.6%(徒歩) [☆]	57.4%(徒歩)	65.5%(徒歩)	62.1%(徒歩)	61.7%(徒歩)	60.0%(徒歩)	2.1
基本目標7	施策25	市内の公共交通機関(電車・バス)を利用しやすいと感じている市民の割合	76.3%	75.2%	80.6%	77.5%	77.8%	77.0%	0.5
	施策29	騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合	19.5%	13.8%	13.4%	14.2%	13.8%	20.0%	▲5.8
	施策30	戦争についての話をしたり、聞いたことのある市民の割合	84.9%	83.6%	79.8%	81.0%	81.5%	90.0%	▲9.0

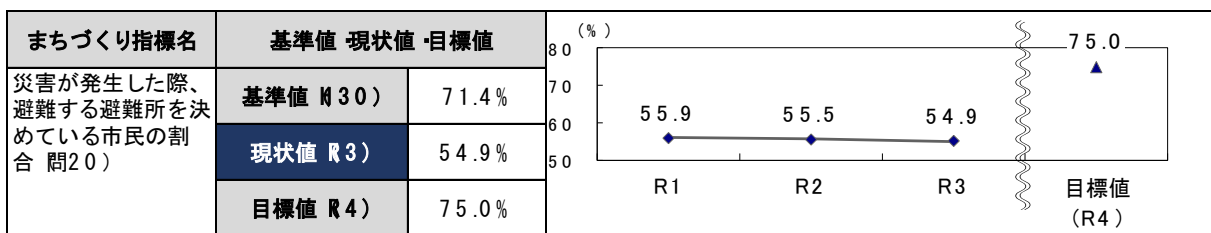
※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(調査期間: H30. 12. 28~H31. 1. 18)」による把握値

※目標値を達成した項目は、網掛け表示しています。

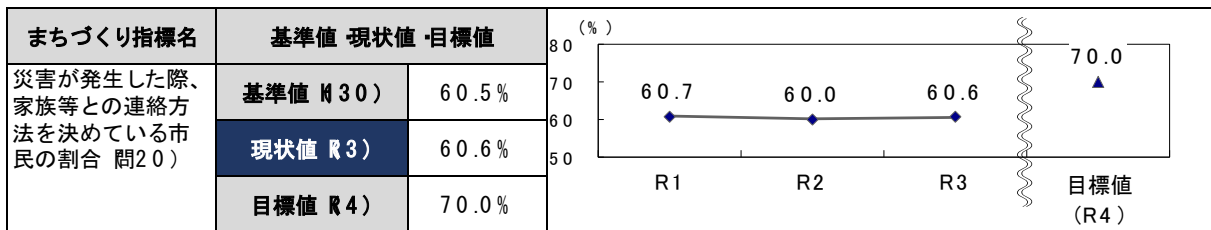
- ※1 「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標です。
- ※2 「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標で、平成30年度に新設した「自宅などから目的地に向かうときに市内を円滑に移動できる道路が備わっていると思いますか。」という質問項目を、「市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。」に更新し、調査した結果です。

○令和2年度から令和3年度にかけて5ポイント以上減少した指標は、「地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合」、「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」になります。

施策01 災害に強いまちづくり

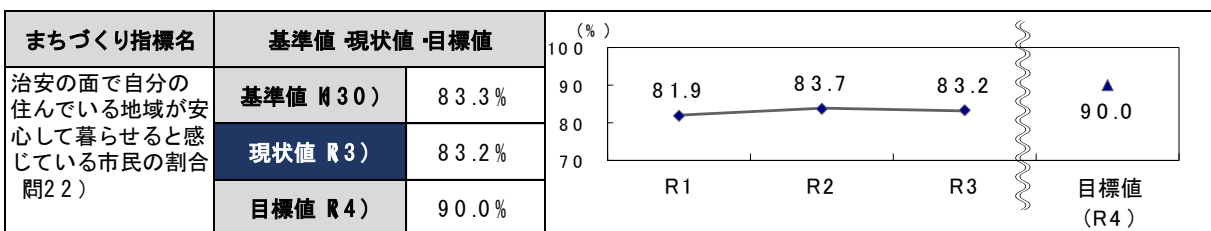


※指標の算出方法：「十分に組み組んでいる」「少し組み組んでいる」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「十分に組み組んでいる」「少し組み組んでいる」と回答した人の割合

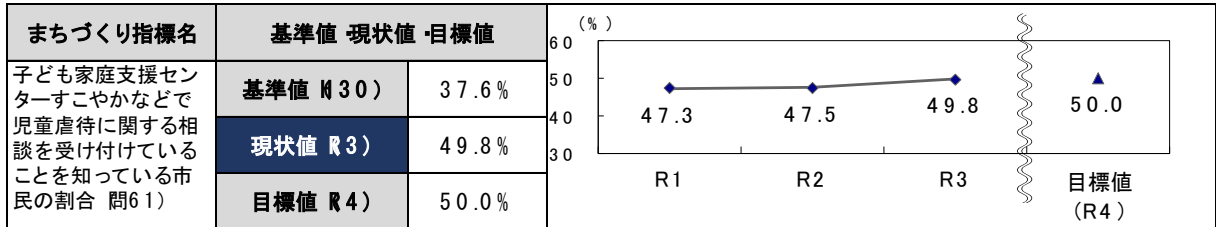
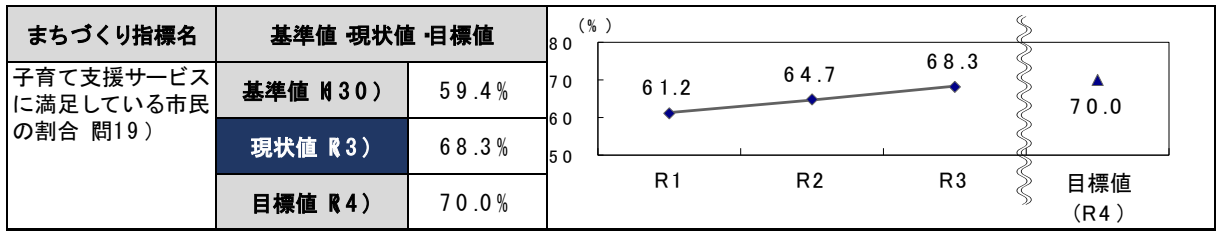
施策02 防犯対策の推進



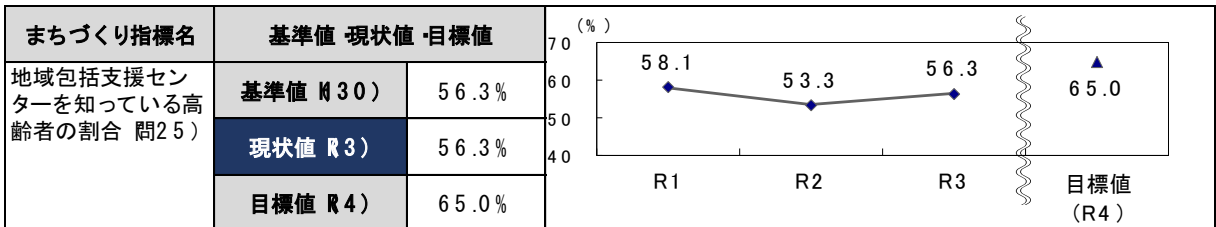
※指標の算出方法：「安心している」「どちらかといえば安心している」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

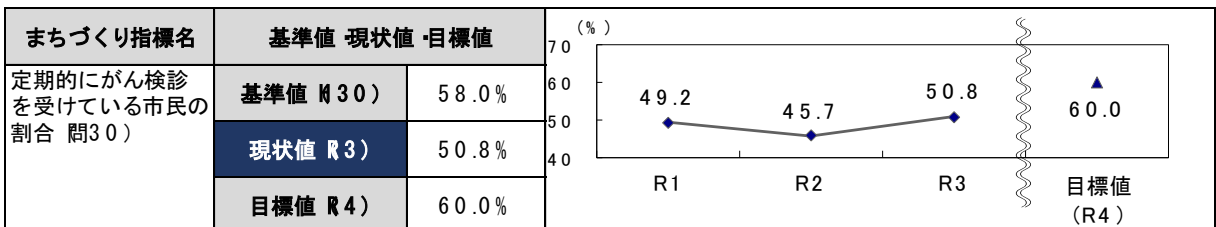
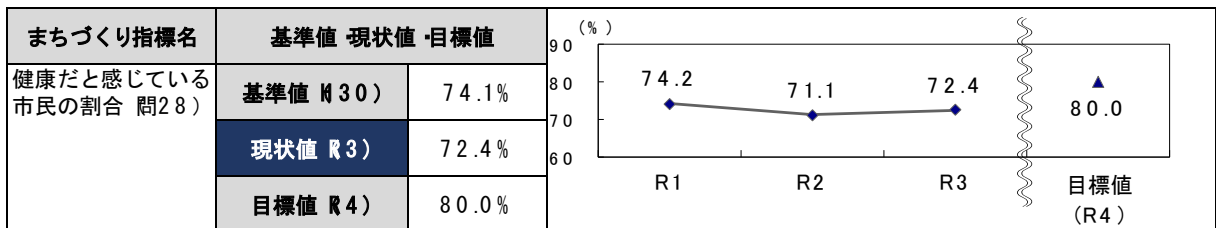
施策 04 子ども・子育て家庭の支援



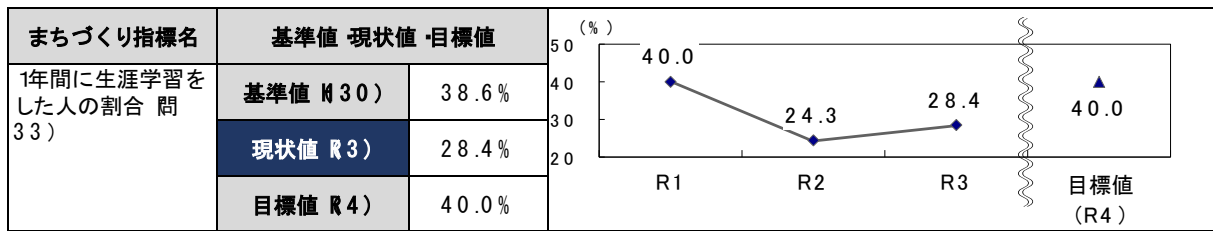
施策 08 高齢者福祉の充実



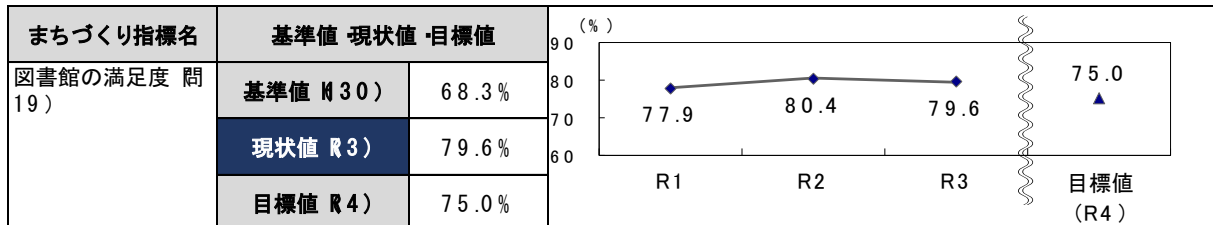
施策 12 生涯を通じた健康づくり



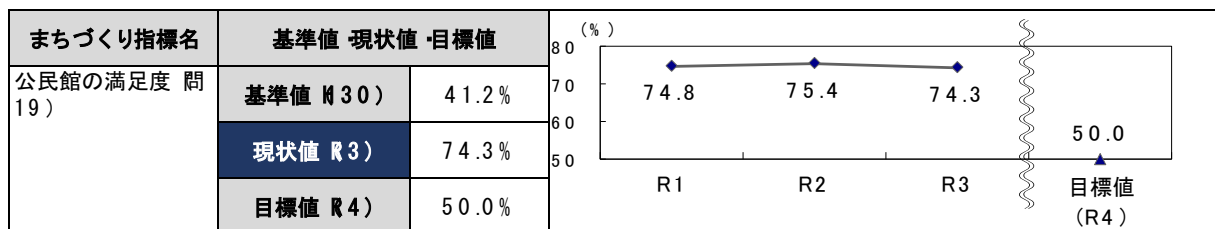
施策13 生涯学習のまちづくり



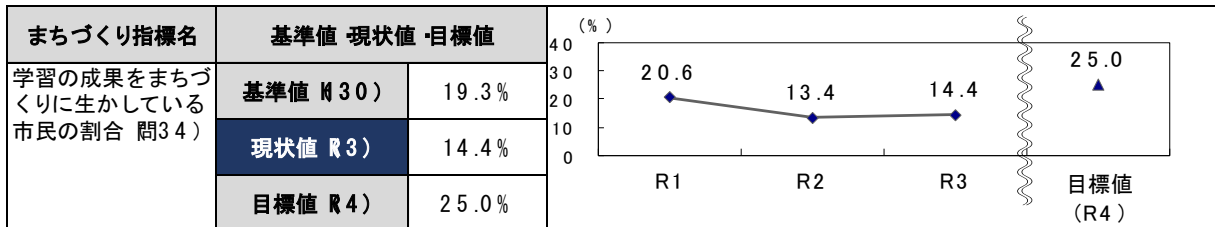
※指標の算出方法：「月1回以上取り組んだ」「年に数回程度取り組んだ」「年1回取り組んだ」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

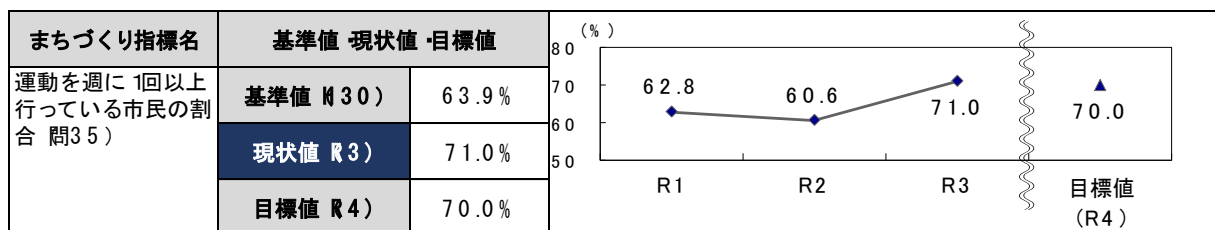


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答した人の割合

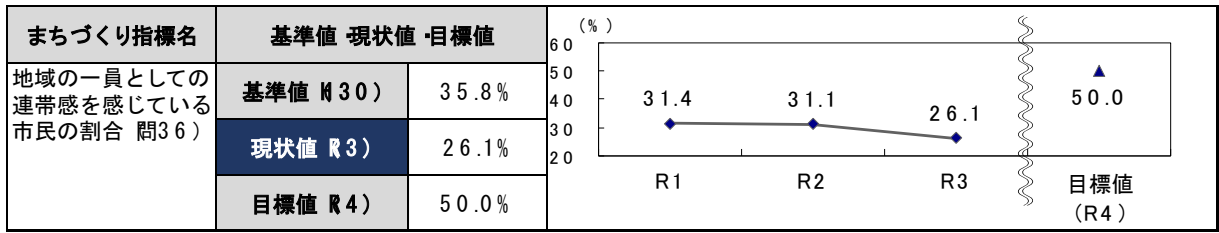
施策14 市民スポーツの振興



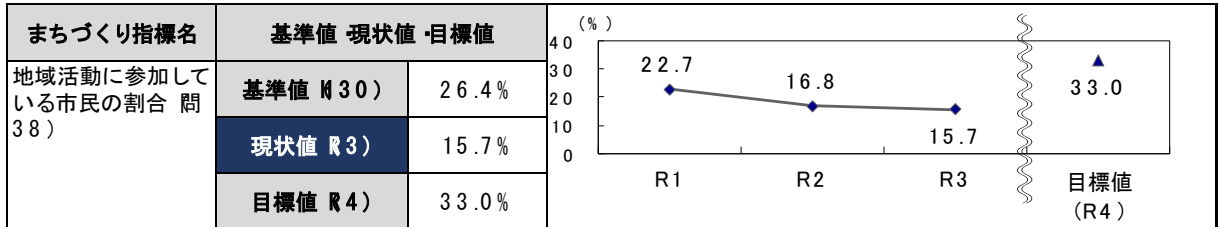
※指標の算出方法：「週2回以上している」「週1回程度している」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

施策15 地域コミュニティの醸成

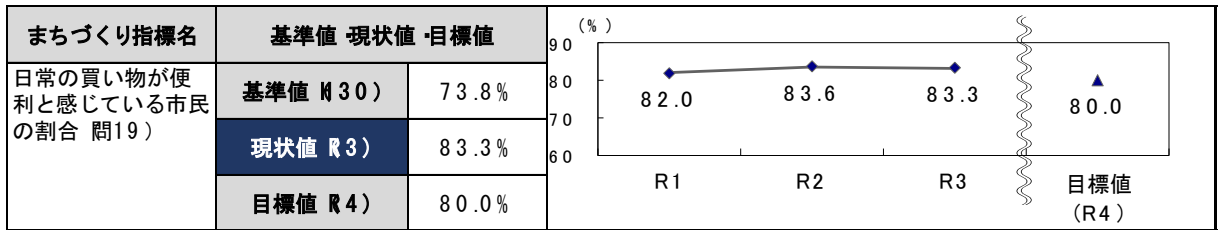


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合



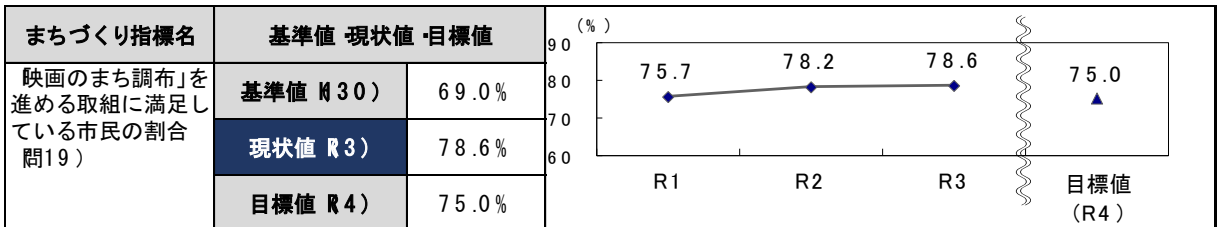
※指標の算出方法：「ほぼ毎日参加している」「週に1回程度参加している」「月に1回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した人の割合

施策16 活力ある産業の推進



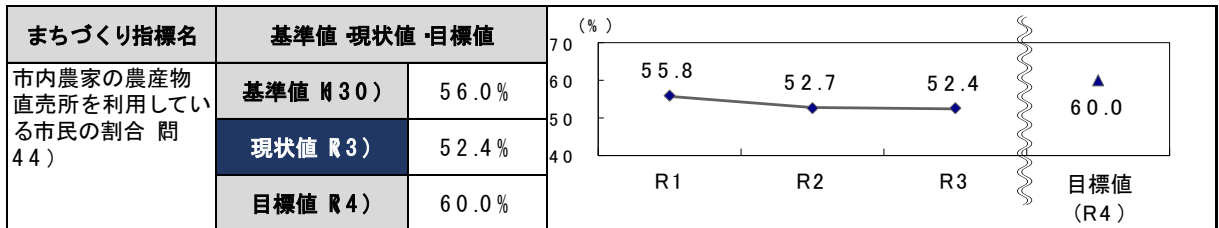
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策17 魅力ある観光の振興



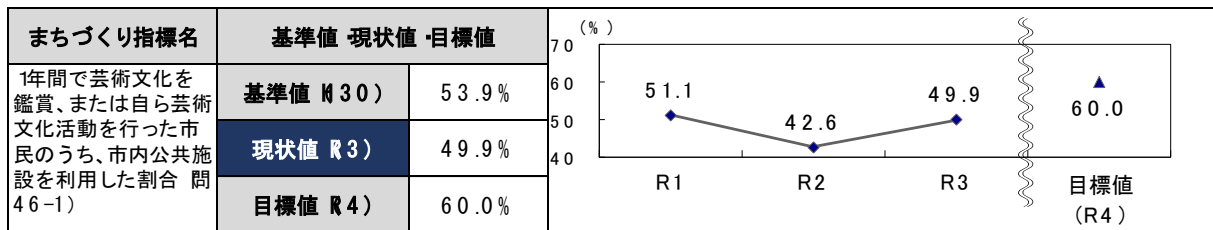
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策18 都市農業の推進



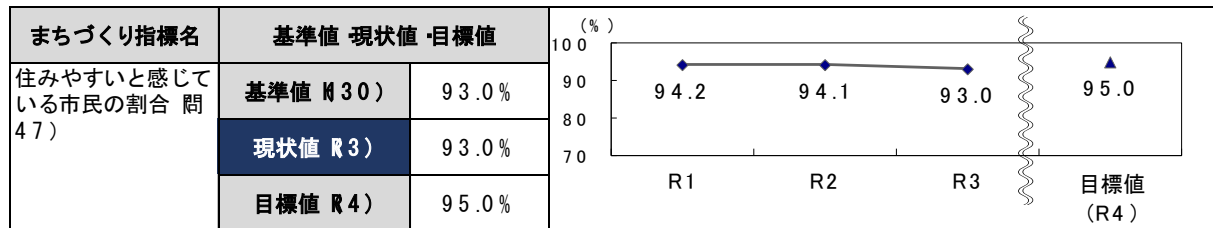
※指標の算出方法：「進んで利用している」「時々利用している」と回答した人の割合

施策 19 芸術・文化の振興

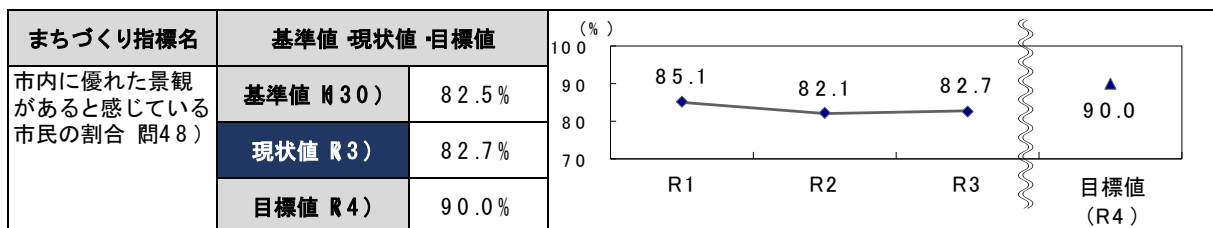


※指標の算出方法：問46で「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」と回答した人のうち、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」と回答した人の割合

施策 21 良好な市街地の形成



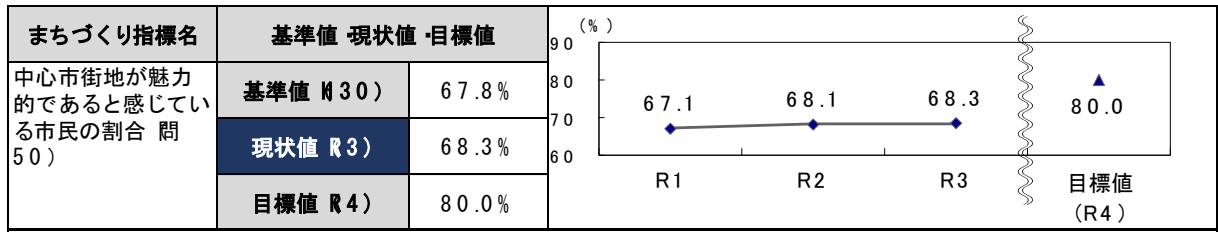
※指標の算出方法：「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合



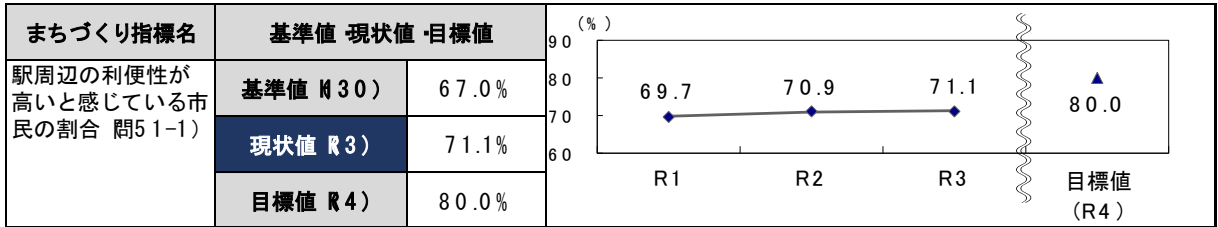
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

第3章 調査結果<調査結果の概要>

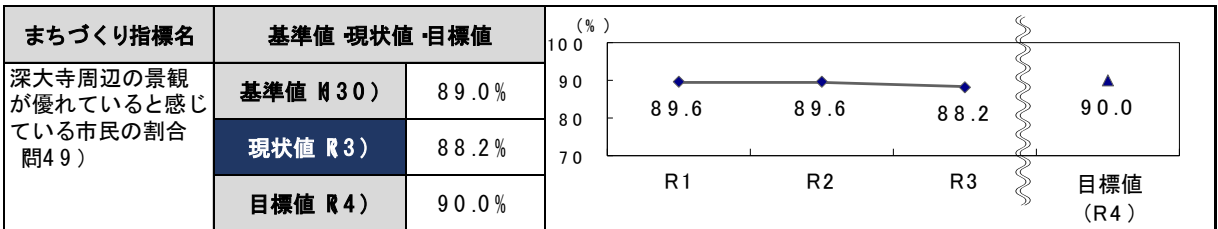
施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成



※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

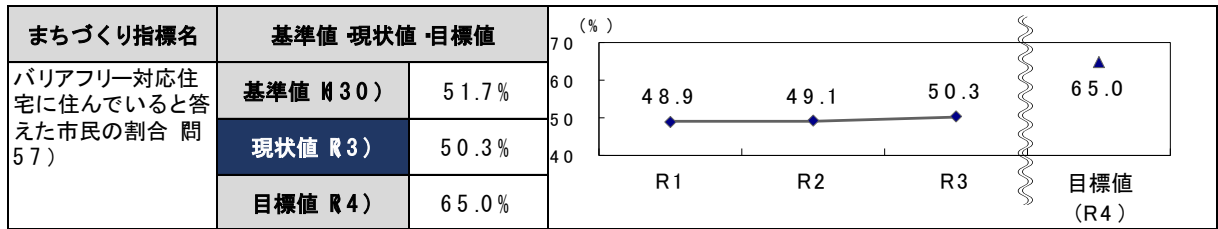


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

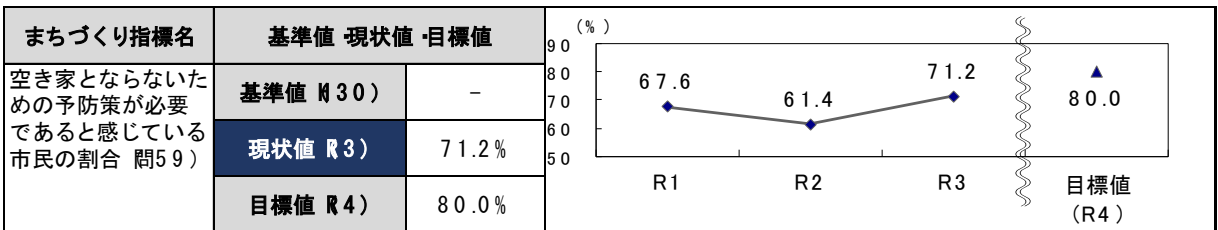


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 23 良好な住環境づくり

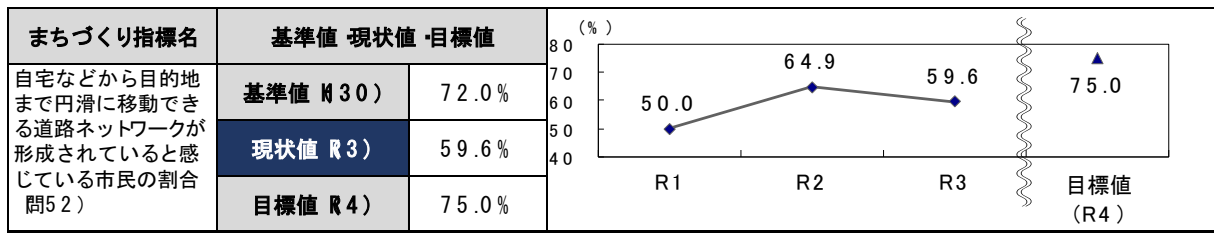


※指標の算出方法：「バリアフリー対応になっている」「一部、バリアフリー対応になっている」と回答した人の割合

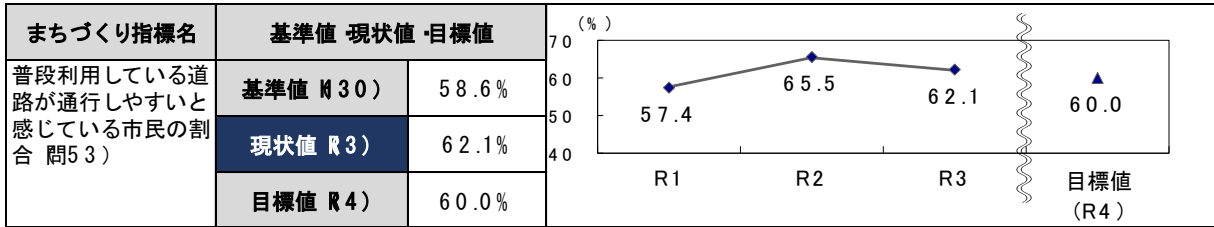


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 24 安全で快適なみちづくり

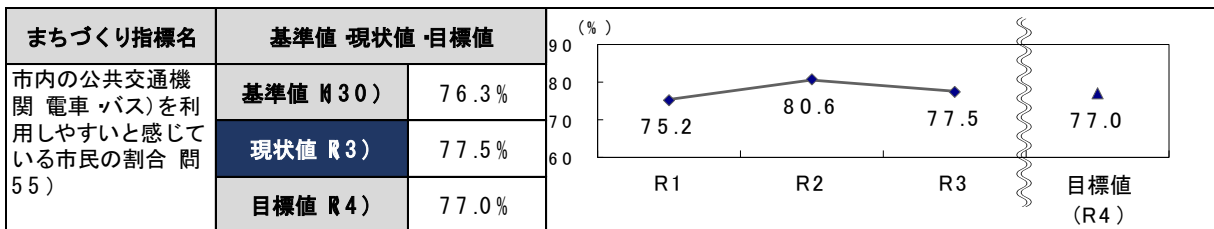


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



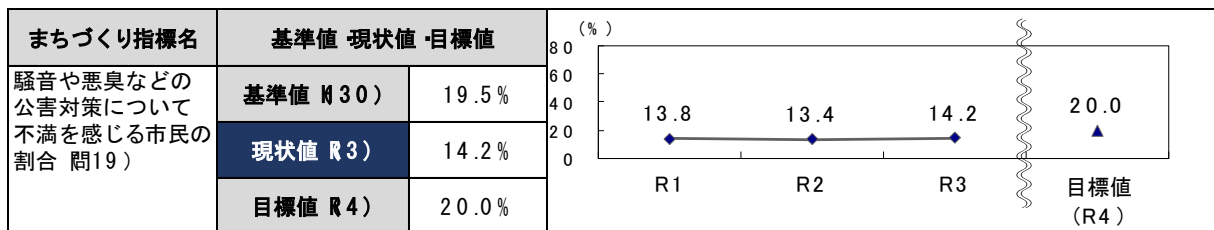
※指標の算出方法：「歩きやすい」「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合

施策 25 総合的な交通環境の整備



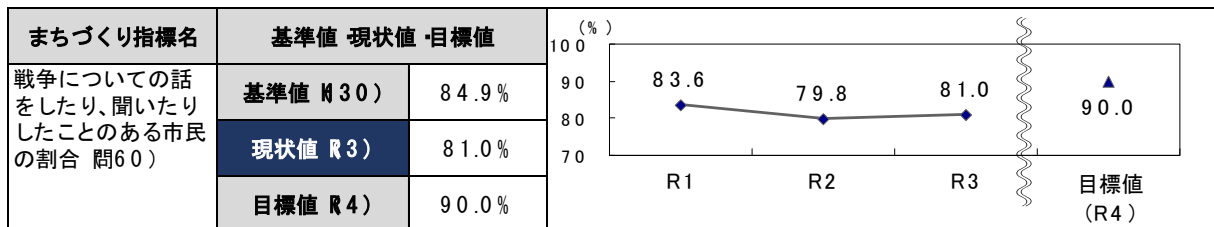
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 29 生活環境の保全



※指標の算出方法：「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した人の割合

施策 30 平和・人権施策の推進



※指標の算出方法：「ある」と回答した人の割合